



〈自分を知り進んで学ぶ子ども〉
 〈感謝の気持ちを持ち思いやりのある子ども〉
 〈健康でたくましい子ども〉
 〈地域・ふるさとを大事にする子ども〉

春の遠足で貴重な体験

5/2(金)は「春の遠足」でした。今回の遠足は、①日向市駅から延岡駅まで電車移動体験②延岡市消防署の施設見学&体験活動③西階公園での昼食&自由時間：...と、とても充実していました。延岡市消防署では、消防本部や司令室及び消防車やポンプ車やはしご車を見学しました。消防隊員24時間交代で勤務していることや日頃から訓練やトレーニングで鍛えていること、救助する場所に応じている様々な消防車があり、いろんな器具や装置が備えられていることについて詳しく教えていただきました。消防服の試着や救助用カッターに触れる体験などもありました。最後に隊員さんの「今日の見学を通じて、将来消防士になりたいと思う人？」という質問に荒谷小の全児童が「はい。」と元気よく手を挙げたのがすごく印象的でした。見学後は、西階公園でお弁当を食べながら楽しく遊びました。貴重な体験をさせてくださった延

岡消防署の皆様、安全に送迎してくださった諸塚交通及びJR九州の運転手さん、ありがとうございました。



民生委員・児童委員による学校訪問

5月22日(木)、諸塚村内民生委員・児童委員さんによる学校訪問が行われました。1年生音楽「わらべうた」、3・4年生道徳「学級会での出来事」、5年生と6年生の算数の複式授業の授業参観の他、委員代表のごあいさつ、委員及び学校職員紹介、学校紹介映像視聴、学校経営概要説明、情報交換を行いました。情報交換では、村内の立岩小・七ツ山小学校の閉校後の地域の様子も話題になりました。子供たちが安心して学校生活を送れるよう、今後とも連携を図っていききたいと思います。



土砂災害について

学びました

5月23日(金)に諸塚村役場建設課と日向土木事務所の方々に来ていただき、「土砂災害防止教室」を行いました。土砂には、「がけ崩れ」、「土石流」、「地すべり」の3種類があることや、災害から身を守るために様々な工夫がなされていることを学びました。学校周辺の現地確認では、危険箇所や災害を防ぐための砂防堰堤などの見学を行いました。質問コーナーでは「自分が住んでいるところは安全ですか?」とか「工事にどれくらい(時間が)かかりますか?」といった具体的な質問がいっぱい出ました。これから大雨や台風が発生するシーズンです。



防災情報に関心をもって、いざというときに早めの避難が大切だなど思いました。貴重な学習ができて良かったです。ありがとうございました。

努力を続けていくこと

昨日の体育で久しぶりに一輪車の練習をしました。感覚を取り戻すため、アイドリング(前後の動き?)等の練習の後、正樹先生が「毎日少しずつでも続けることが大事です。今日、何分か練習しただけで上達を感じた皆さんは、続けるものすごく上手になります。」と話されました。早速、今朝登校してすぐにグラウンドで一輪車の練習をする素直な児童。三日坊主が常の我が身を反省しました。これと関連するかどうかは分かりませんが、創立百周年記念誌の「思い出の文集」欄に第15代校長黒岩計佐一先生が書かれた文章がありましたので紹介します。



誌の「思い出の文集」欄に第15代校長黒岩計佐一先生が書かれた文章がありましたので紹介します。

百年の火を消すな

諸塚村滝の下 黒岩 計佐一

私たちがお世話になったのは、昭和十七年から二十一年(妻は十九年)迄で、大東亜戦も益々激しくなりB29が編隊で悠々と私達の上空を通るようになり米軍は拠点日本に近づけて来ました。日本はこれに対し国力の総てを集中し所謂総動員下でありました。

こんな中での教育でありますから落ち着いた満足な教育などとても無理でしたし、祖国振興隊の旗の下に児童も集団作業で校外に出ることが度々ありました。学校の三十五坪の校舎増築(今のへき集の所に在った)の折など上級生(当時高等学校科がありました)は黒原の学有林地から切り出された木材を引張って建築に役立てました。B29が真上を飛んでいったこともあり、こんなことばかりでなく当時校長は子供の担任もありましたので、用務のため出張等あつて授業が欠けることがありました。日帰りはまだしも一泊のこともありましたので子供には大変無理をしたのです。

当時は生活の物資も統制され、主食を初め日用品に至るまで配給制度となっていました。衣料等はなんとかなるものの、食べ物の子供のためにも充分取らせないとけないし大人も腹が減ってはの例えて

少しでも自分で補うよう空き地や借地に甘藷や馬鈴薯を植え野菜を作り時には集落の人と共にわらびの根掘りをしたりしました。甘藷は配給になり妻は遠くの集落までかるいにも行きました。

昭和二十年八月昭和天皇の御詔勅により多大の犠牲を払った戦は終わり、画期的な時代を迎えることになりました。学校も新しい制度のもとに教育の内容、施設共に改まってきました。これからは平和の保たれる国の一角の山村として生き延びねばならぬ所に在る学校ですが、現在では小規模校となっています。これを支えていくのは、校区民の皆さんの力です。折角立派な先生方もお出でになっていなくなる、子供も決して他の地域に劣っていないと思います。所謂幼童から老人まで皆が一丸となって、百年間燃え続けてきた火を消さないよう努力を続けていくことだと思えます。

いかがでしょうか。今年、荒谷小は百三十五周年になります。明治、大正、昭和、平成、令和と時代は変わりましたが、荒谷小は今も地域の皆様に支えられています。都会では希薄になってしまいがちな人と人とのふれあいがあります。それを宝として、残り2年を切った荒谷小の教育活動を充実させたいものです。

*サツマイモの苗を植えました

5月26日(月)にサツマイモの苗を植えました。プール横の小さな畑に紅はるかや安納芋の苗をそれぞれ40本植えました。久しぶりの芋植えでしたが、みんな上手に植えていました。秋に収穫したらどうするかを尋ねたら、「焼き芋にして食べたいです!」「スイートポテトが作りたいです!」「大学芋にします!」とすごく楽しみにしているようでした。



6月の主な行事予定

- 2日(月)・・・全校集会、プール清掃(5・6校時)
- 6日(金)・・・田植え(5・6校時)
- 8日(日)・・・公民館親善レクリエーション大会
- 10日(火)・・・学校組織マネジメント訪問
- 11日(水)・・・心肺蘇生法講習会(15:00~)、PTA三役会
- 17日(火)・・・プール開き(5校時)
- 18日(水)・・・PTA評議委員会
- 19日(木)・・・学校運営協議会
- 25日(水)・・・プログラミング学習
- 29日(日)・・・九州玉入れ選手権大会
- *木曜日は、ALT訪問日です。



